

あかいるまん

わが町、わが店、この道一筋。出逢いとコミュニケーション あかい新聞店ホームページ <http://www.akai-shinbunten.net> <発行所>あかい新聞店 武豊店/知多郡武豊町字金下37番地 ☎<0569>72-0356 常滑店/常滑市市場町4丁目167番地 ☎<0569>35-2861 企画・制作：株式会社 新聞ビル



よんひやくじのきよつがたり

ひいさま 藤間勘萃



NO.012

都をどりは「よーいやさー」

祇園甲部の歌舞練場で桜の季節に行われる、京舞井上流の都をどり。明治五年の第一回から数えて、今年のお公演で通算一五二回目を迎える。

約一時間の舞台は全八景。春に始まり、夏から秋、冬へと巡り、再び桜が満開の春の舞台で華やかに締めくくられる。幕を一度も下ろさず、暗転だけで舞台を変えていく。

お茶席つきの観覧券では、舞台の前に芸妓さんのお点前で、お抹茶とお菓子をいただく。お菓子のお皿を持ち帰れるのだが、五色あるうちどの色にあたるかはお楽しみ。「今年こそ全部の色を揃えるえ」と、母はそれこそ目を皿のようにして通っていた。踊りを観にいつているのやら、お皿を集めにいつているのやら。

子供の頃、好きだったのは、二階の二等棧敷席。昔ながらの畳敷き、お座布団にちんと座って、欄干に頬杖ついて、落ちる寸前まで身を乗り出しながら、華やかな舞台を眺めるのが楽しみだった。体がふわりと宙に浮いて、舞台の空気とひとつになれるような、そんな気持ちで満たされる、うららかな春の一日だった。

ひいさま (松根裕美)

京都生まれ、京都育ち。学生時代は日英を問わず朗読や作文に多く携わる。高校時代、裏千家主催学校茶道体験論文コンテストにて優秀賞受賞、第18回裏千家ハイセミナーに招待。京都私学ESS連盟主催英語暗唱大会優勝、英語弁論大会優勝。大学時代、世界遺産「下鴨神社」で十二単王朝舞を学び、名月管絃祭で舞を奉納。現在は京がたりの舞台活動に加え、一般社団法人きものカラーコーディネーター協会認定講師として、きもの・色・ことばに関わる各種レッスンやコンサルティングを、名古屋を中心に各地で展開。きものカラーワークやセルフ和髪レッスンなど、地方や海外からも生徒が訪れる人気講座を運営。
Instagram → @hiromimatsune



ひいさま 藤間勘萃 幻燈館

『都をどり』動画をYouTubeでご覧いただけます。
QRコードを読み取っていただくか、「藤間都をどり」で検索して下さい。

ひいさま (藤間勘萃)

1958年に名古屋で生まれ、1977年にデビュー。日本舞踊家(宗家 藤間流 名執) / 楽師としてNHK「日曜美術館」や「花の舞・花の宴」、養老孟司(東京大学名誉教授)との「以心伝心・以身伝心」、久田舜一郎(小鼓方 大倉流15代宗家)との「秋天の興」など放送や舞台上に数多く携わる。作 / 編曲家として「世界デザイン博覧会」テーマ館音楽、名古屋芸術祭主催公演テーマ曲、関西二期会オペラ、合唱曲「弥陀観音大勢至」(深井丸 興西寺所蔵)、「おとほぎ」(あいちオカリナ フェスタ テーマ曲)、音楽版「浄土真宗 正信偈草四句目下」(光壽山 阿彌陀寺所蔵)などを手掛ける。名古屋音楽大学音楽学部 作曲学科卒業。日本福祉大学 社会福祉学部を経て、現在、東海学園大学 教育学部にて講師。



ひいさま 藤間勘萃の
ホームページはこちら



旅で磨こう「文化力」⑩

知覧 この美しい語感の名を持つ土地は、若い命を散らせた特攻の最前線基地だった。特攻はIS(イスラム国)の自爆テロにも通じる。いずれも大義あつての行為だが、自国防衛のために戦った特攻隊員と無差別攻撃のテロ犯は同列にできない。しかし人が人を殺す「戦争の狂気」がなせる業である。そうした思いを胸に2016年3月中旬、鹿児島県の知覧を訪ねた。

一式戦闘機「隼」III型甲をモデルに復元

知覧は太平洋戦争が始まった1941年、陸軍飛行学校の分校として開設された。本土決戦となった沖繩戦における陸軍の特攻作戦は1945年3月から7月まで続いた。知覧を始め、宮崎県の都城、さらには統治下の台湾などからも出撃しているが、知覧基地が本土最南端だったという点もあり、戦死した陸軍の特攻隊員1036名のうち、439名にも及ぶ。

知覧を訪ねるなら花見の季節と聞いている。なるほど知覧特攻平和会館までの道のりには桜並木が続く。花見には少し遅すぎたが、桜を見に来たのではない。敷地内の一角に戦闘機が置かれていた。近づいてみると説明文があり、一式戦闘機「隼」III型甲をモデルに復元されたものがあった。

「隼」は太平洋戦争時、陸軍の主力戦闘機で、知覧の特攻基地からは九七戦闘機に次いで多く120機が飛び立っている。2007年に公開された映画「俺は、君のためにこそ死ににいく」(製作総指揮・脚本・石原慎太郎 監督・新城卓)の撮影に使われた「隼」という。

会館周辺には護国神社や1955年に建立された知覧特攻平和観音堂があり、浄財や篤志家によって建てられた特攻勇士の像「こしえに」(1974年設置)と母の像「やすらかに」(1986年設置)が向かい合うように建っている。帯にはいくつもの慰霊碑が設けられ、次第に数を増やした灯籠が並び、鎮魂の雰囲気を感じさせていた。

当時の生活の様子を伝える三角兵舎

会館は1985年から2年かけ工事費5億円を投じて建設された。延べ1600平方メートルの広さで、837平方メートルが遺品室に充てられている。中に入るや、目に飛び込んできるのが特攻隊員の遺影だ。どの顔も10代と20代の青年の凛々しい顔立ちだ。その下の展示ケースには、死を覚悟した特攻隊員が、家族や友人宛てに宛てた遺書や遺言、遺品などが所狭しと並べられていた。



一式戦闘機「隼」のレプリカ

もう一機展示されているのは、零式艦上戦闘機五二型丙で、これも実物。鹿児島県薩摩川内市の飯島500メートルの水深約35メートルから1980年に引き上げ修復したもので、損傷が激しく機体前部と主翼及び主脚のみ現存する無残な状態ではあるが、往時を偲ばせる機体だ。

会館に隣接した杉林の中に、三角兵舎が復元されており、敵機から見つけられないように、壁はほとんどなく屋根が直接地面に置かれているような形をしている。内部は当時の様子がそのままに保存・展示がされており、当時の兵舎生活の様子を伝える。

狭しと並ぶ。

こうした特攻隊員の遺影1036柱は白、遺書などの遺品が約4500点を数えるそうだ。展示品のほとんどは、知覧特攻平和会館初代館長で元特攻隊員の板津忠正さんが集めたものという。残念ながら館内の展示品は全て撮影禁止だった。

なかでも四式戦闘機「疾風」(はやて)I型甲は実物だ。特攻隊を援護する直掩(ちよくえん)誘導などを任務としていたが、沖繩戦では特攻機としても使用された。知覧基地からも4機が出撃し、2機が未帰還となっている。屋外にも展示されていた一式戦闘機「隼」III型甲は館内にも展示されており、いずれも映画配給元の東映より知覧町へ譲渡された実寸大の精巧なレプリカだ。

基地から出撃し散った、若き特攻隊員を偲ぶ

この兵舎の中で隊員たちは、日の丸に寄せ書きを書いたり、故郷へ送る遺書や手紙を書いたりしていた。



杉林の中に、復元された「三角兵舎」

胸を打つ死を覚悟しての遺書、遺品の数々

知覧を訪ねると、戦闘機や兵舎に目を奪われる。しかし胸を打つのは死を覚悟して死の直前に綴った遺書だ。特攻隊には遺書はなく、残された遺書と遺品だ。会館に展示された遺書は一日かけても読めないほどだ。母への感謝が多いが、婚約者や恋人へのメッセージもある。そうした無念の心情が痛いほど伝わってくる。

当然ながら、国(天皇)のために特攻す、と書かれた遺書もあり、最後まで勇敢な意志を誇示している。それが真情であったのか、特攻によって自身が死んでいく理不尽な現実に対し、国のためという言葉によって自分や家族に対し、言い訳や慰めをしていたのではなかったのかとも思える。

そんな一篇を、買収求めた図録冊子『陸軍特別攻撃隊の真実 只一筋に征く』から引用する。

御母様、いよいよこれが最後で御座います。いよいよ一人前の戦闘操縦者として御役に立つときがきたのです。御優しい、日本一の御母様。今日トランプ占をしたならば、御母様が一番よくて、将来、最も幸福な日を送ることが出来るそうです。(中略) 短いようで長い十九年間でした。いまはただただ艦必沈に力めます。(中略) 日本一の御母様、いつまでも御元氣

で居て下さい。(後略) 宇佐美輝夫 少尉(福島県出身、19歳で沖繩周辺にて戦死)

何となく切ない言葉の羅列である。戦後、平和になった日本は、特攻隊員を祖国を守るために、自らの命を捧げた英霊として顕彰する。残された戦友や家族は、そう信じなければ、納得がいかなかったのではなからうか。

「出撃の日には大いなる喜びの日と書いた特攻隊員もいる。また天皇にこの身を捧げると書いた者もいる。そんな彼らは心情的には殉教的自爆テロのテロリストと同じです」との指摘に、「自爆テロの奴らは一般市民を殺戮の対象にしたものだ。無辜(むこ)の民の命を狙ったものだ。特攻で狙ったのは無辜の民が生活するビルではない。爆撃機や戦闘機を積んだ航空母艦だ」と反論する。

確かに特攻と自爆テロでは、自らの意志で志願し、命を賭して決行するが、軍隊や宗教という特殊な組織による洗脳がまったく無かったとは言えない。その現実には、英雄でもなければ、狂人でもない。あえていうなら、自らの生涯を意味深いものにしようかと悩む苦しむ人間である。

かつて行き詰った日本の軍隊の究極の作戦として考えられた特攻だが、ISによる自爆テロは日常化している。昨今の平和な日本では、集団的自衛権が成立し、平和憲法下で専守防衛のはずの自衛隊が他国との交戦の可能性も現実味を帯びてきた。特攻も自爆テロも、高適な精神に裏打ちされるものでなく、戦争や戦闘の狂気の手段であることを胆に銘じておきたい。日本にとって戦後80年、世界各地で戦火は絶えない。特攻という戦争の愚かさを忘れてはならない。

知覧を飛び立った特攻隊員が機上から見納めた富士山のような美しい開門岳を、私は池田湖から眺め、平和がどれほど大切なことか思いを深めた。



所狭しと並べられた特攻隊員の遺影、下のケースには遺書や遺品(知覧特攻平和会館のパンフレットから転載)



白鳥 正夫プロフィール
1944年8月14日愛媛県新居浜市生まれ。中央大学法学部卒業。朝日新聞社定年退職後は文化ジャーナリスト。著書に『絆で紡いだ人間模様』シルクロードの現代日本人列伝『新藤兼人 未完映画の精神』幻の創作ノート『太陽はのぼるか』『アトミ鑑賞の玉手箱』『夢をつむぐ人々』など多数

この指とまれ (349) 氏原朝信

昭和56年度常滑西小学校一年一組「なかよし」

せんせい あね(4) かぞく①ー かずこ

三さいくらいに おかあさんといっしょに おふるにはいっただとき 足をかいだんみたいにしてくれたよ

※よくおぼえていたねお母さんとお父さん

うちのおとうさん おかあさんおとっさん おかあさんおとっさん おかあさんおとっさん

おとうさんは あさ早くおきて ごんぎょう やつて かお あらつて ごはん たべて かぶでかいしゃにいって

※お父さんの朝は早く起きているんだよ

うちのとおとうさん すごくこわいんだよ いつも六じ四十五分までにおきないよ

しりをなんぼつでもたたくから いつもようじんしているんだよ

このころあまりたたくたかれない

※だんだんとお父さんに起されなくて起きられるようになったんだね

おとうさんは あさ早くおきて ごんぎょう やつて かお あらつて ごはん たべて かぶでかいしゃにいって

※お父さんの朝は早く起きているんだよ

だねお父さんおとっさんおとっさん

料理研究家 長澤晶子のSPEED★COOKING!

簡単! ヘルシー鶏むね肉ジャーキー

手ごろな価格の鶏むね肉を乾燥させると、味が凝縮、噛むたびに旨味が染み出てくる簡単なおやつになります。育ち盛りのお子さんや花見の大人のあつまみにもおすすめです。

材料

- ①鶏むね肉.....600g (冷凍して固めた後、常温で5分ほど解凍する) ※少し解凍することにより、均一にスライスしやすくなります。
- ②塩.....適宜
- ③黒胡椒.....適宜
- ④粉チーズ.....適宜

作り方

- ①を包丁で2mm厚にスライスし、②を少々全体に振りかける。
- 電子レンジの耐熱ガラス皿にレンジ用シートを敷き、①を重ねないように並べる。
- ②を600Wで5分加熱すると肉の色が加熱で白くなる。
- ③をさらに3分追加すると肉の色が白からうす茶色になり、固く締まって乾燥してくる。
- ④を取り出し、肉を上下に返して2分加熱すると、水分が抜けるので、固くなっていたら完成。

★作り方①での味付けを④や③に替えると味のバリエーションが増えます。

★粗熱を取って、ジャーキーをしっかりと乾燥させると保存ができます。

知多の新鮮たまご 発酵ケイブン

(有)知多エッグ

知多郡武豊二ツ峯380 TEL0569-73-6341

大阪屋樹木葬常滑北

誠意を込めて安心のお手伝い

大阪屋葬祭

常滑ホール 鬼崎ホール リビング常滑 リビング常滑北

TEL0569-35-4949

常滑市民文化会館

▼スタインウェイひとりじめピアノ体験・十八日(金)、十九日(土)、二十日(日) 午前九時半〜午後八時 関係者のみ 問合せ 常滑市民文化会館 35-3111

▼六月八日 熱響打楽フェス in 知多半島 開催記念 楽しもう 和太鼓! 二十九日(火) 祝! 午前十時〜正午 申込者のみ 問合せ 常滑市民文化会館

▼あなたのギャラリー

▼文化協会・文化会館 協働事業 文化ふれあい体験広場・二十六日(土) 午後一時半〜第一展示室 問合せ 常滑市民文化協会事務局 35-2920

▼とこなめ陶の森資料館 第一回企画展「知多と三河の製塩土器」二十六日(土)〜八月三日(日)

▼とこなめ陶の森 陶芸研究所 常設展示

訪問集金でお支払いの購読者の皆様へ

口座自動振替が 便利



口座自動振替のメリット

- メリット1** 毎月決まった日に引き落とされるからお金の管理がラク!
- メリット2** 忙しい時間に手間を取らない!
- メリット3** 不要な対面を避けられる!

ご利用可能な 金融機関

- ・JAバンク・三菱UFJ銀行
- ・ゆうちょ銀行・半田信用金庫
- ・知多信用金庫



お申し込みはあかい新聞店まで!

中日新聞
あかい新聞店 武豊 0569(72)0356
常滑 0569(35)2861

おすすめ 定期借地物件!!

物件案内① 定期借地

土地 約219坪

- [物件の所在地] 常滑市飛香台
- [交通機関] 名鉄常滑線 常滑駅 徒歩29分
- [地積] 公簿 723.18㎡
- [地目] 宅地
- [用途地域] 第1種住居地域
- [建ぺい率] 60%
- [容積率] 200%
- [接道幅員] 西側 約13.0m
- [現況] 更地
- [備考] 定期借地物件



物件案内② 定期借地

土地 約316坪

- [物件の所在地] 知多郡武豊町字砂川
- [交通機関] 名鉄河和線 上ヶ駅 徒歩16分
- [地積] 公簿 1,041.19㎡
- [地目] 宅地
- [用途地域] 近隣商業地域
- [建ぺい率] 80%
- [容積率] 200%
- [接道幅員] 西側 約21.0m
- [現況] 更地
- [備考] 定期借地物件



お問合せは
こちら 中日新聞
常滑あかい新聞店 TEL.0569-35-2861

未経験
でも
大丈夫!



朝刊配達員 大募集

自転車またはバイクで新聞の配達をするお仕事です。毎日同じところに配達していただくので、どなたでも簡単にできます。未経験者大歓迎! 親切丁寧にお教えます。

勤務内容

勤務時間	AM3:00~AM6:00内 ご希望の1.5時間程度
勤務日数	週2日~
給与	30,000~70,000円

今だから 始められる。 続けられる。

集金スタッフ

読者のお宅を訪問し、購読料金の集金に伺います。
短時間の業務ですので、時間を有効活用したい方にはぴったりなお仕事です。



折込スタッフ

翌日に配達する折込チラシの仕分けを行います。
専用の機械で行いますので、特に難しいことを覚える必要もなく簡単な軽作業です。昼間の時間帯がメインになりますので、隙間時間で働きたいという主婦の方も多いです。

スマホからのお問合せはコチラ!



各種お問合せはあかい新聞店まで 武豊 ☎0569-72-0356 常滑 ☎0569-35-2861